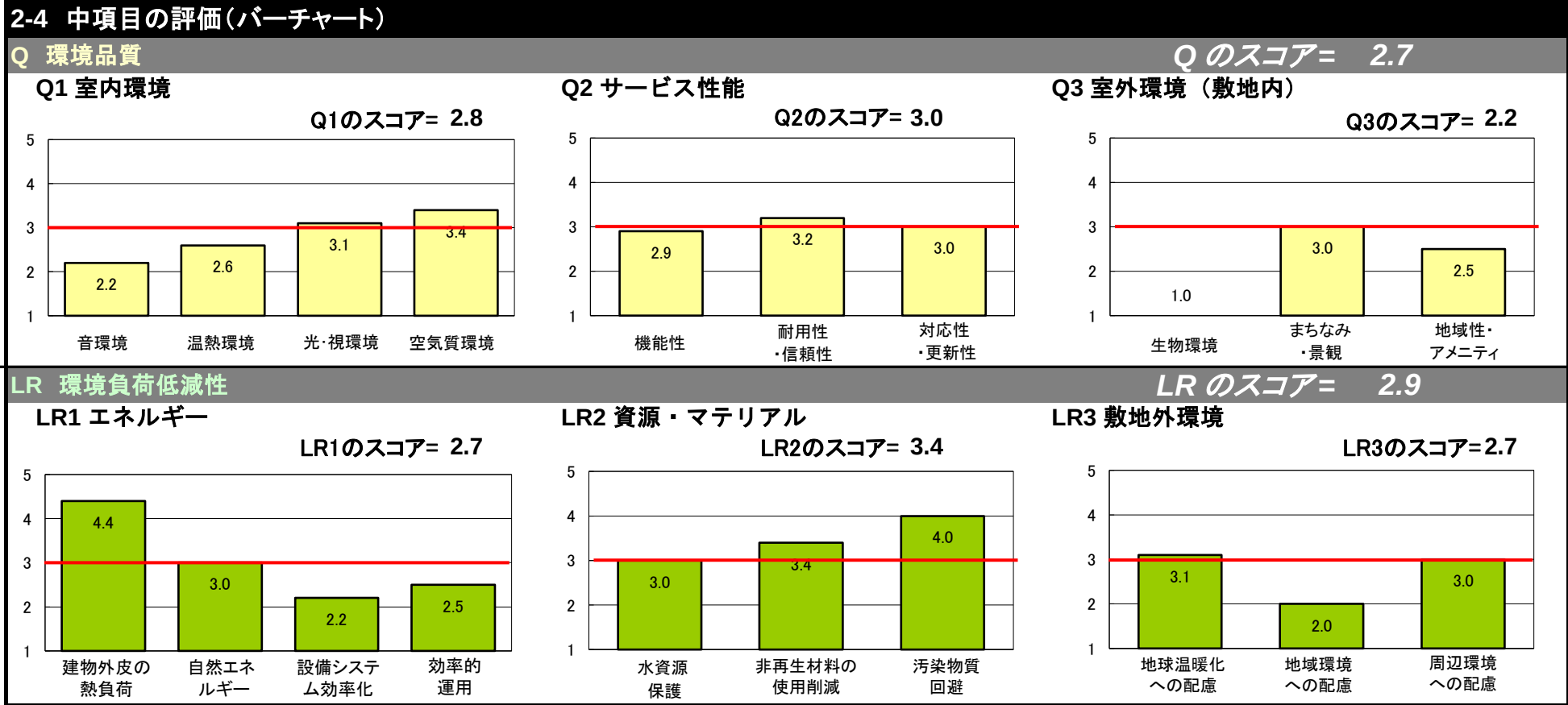
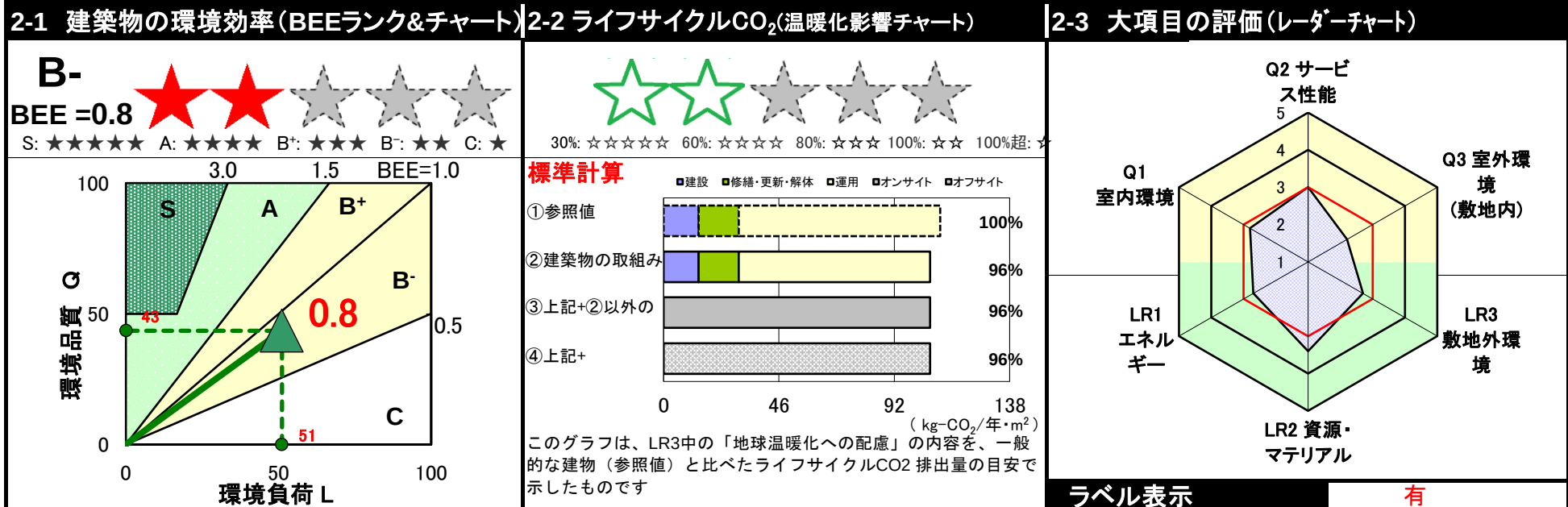


CASBEE[®]
大阪 みらい

建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)田淵海運本社ビル 新築工事	
建設地	中央区南船場2丁目	
建築用途	飲食店・事務所	
建築主		
設計者		
敷地面積	329.47 m ²	
建築面積	199.80 m ²	
延床面積	2,196.45 m ²	
構造/階数	S造 / 地上11階	
完了年(予定)	2022年4月	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺より高層の建築物であるため、道路境界線よりセットバックすることで、周辺のまち並みに配慮し、計画している。また、非常用発電機を設置し、災害時にも建物の運用が可能な計画としている。		特に無し
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
南面カーテンウォールに簡易エアフローを採用し、熱的影響の抑制している。またF☆☆☆☆建材を使用することで、良好な空気環境の形成を図っている。	建築基準法より25%増の耐震性を有する建物とし、また自家発電設備を設置することにより、災害時への強靱性を高めた計画とした。	道路境界線から後退した位置に建物を配置することで、周辺への圧迫感を低減している。また、1階には緑地を計画し、都市の街並みに潤いを与えている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
簡易エアフローの導入により、熱負荷の抑制に配慮した建物としている。	リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。又、有害物質を含まない材料を使用することにより、化学物質の使用低減を行っている。	管理用車両や荷捌き用車両の駐車場及び駐輪場を設け、交通負荷の低減を図っている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.8

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮
3.1	
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	1.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出
1.0	
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上
2.0	
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善
1.0	
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制
4.4	
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	2.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化
2.2	
配慮事項	特に無し

省エネルギー基準計算結果

基準 適合状況	適合
------------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
外皮性能	- (相当)	0.86
	建物全体[BEI][BEI _m]	住宅部分[BEI]
一次エネルギー消費量	0.95	-
		非住宅部分[BEI][BEI _m]
		0.95

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討	
① 周辺環境の把握	
② 日照条件の検討	
ア 検討対象とする場所	■ 屋根部 地上高さ（43）m □ 地上部 （ □ 空地部分 □ その他 ） □ 壁面 □ その他 （ ）
イ アの周囲における日射遮蔽物	■ なし □ あり 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m 方位 （ ） 高さ（約 ）m 水平距離（約 ）m
ウ 日照の確保（冬至）	□ 十分 ■ 不十分
③ 日照条件に適合する場所の検討	
ア 設置可能面積等	（ 0.0 ）㎡ 方位 （ ） 設置角度 （ ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ ）㎡
ウ 設置可能容量	（ ）kW
エ 利用設備に対する荷重対策	□ あり ■ なし
オ 設置に備えた対応	■ なし □ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）
④ 導入判断	
検討結果 □ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 ■ 導入しない 導入を見送る理由（複数選択可） □ 日照が確保できない ■ 躯体が荷重に対応できていない ■ 敷地内に設置する場所を確保できない ■ 費用負担が大きい □ 本計画では見送るが、将来対応可能とする □ その他 （ ）	
2 導入する設備の概要	
ア 太陽光パネル面積	（ ）㎡
イ 発電容量	（ ）kW
備考	
注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。	

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ (43) m ☐ 地上部 (☐ 空地部分 ☐ その他) ☐ 壁面 ☐ その他 ()															
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1" data-bbox="693 682 1551 904"> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ (約) m</td> <td>水平距離 (約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ (約) m</td> <td>水平距離 (約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ (約) m</td> <td>水平距離 (約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ (約) m</td> <td>水平距離 (約) m</td> </tr> <tr> <td>方位 ()</td> <td>高さ (約) m</td> <td>水平距離 (約) m</td> </tr> </table>	方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m	方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m	方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m	方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m	方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m
方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m														
方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m														
方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m														
方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m														
方位 ()	高さ (約) m	水平距離 (約) m														
ウ 日照の確保 (冬至)	☐ 十分 ☒ 不十分															

[illegible]

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
- ☐ 年間を通じて安定した熱需要がない
- ☒ 躯体が荷重に対応できていない
- ☒ 敷地内に設置する場所を確保できない
- ☒ 費用負担が大きい
- ☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
- ☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考
